

2023 年新年ご挨拶

明けましておめでとうございます。

旧年中は皆様には大変お世話になりましてまことに有難うございました。

本年もよろしくお願い申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大は、昨年3月にまん延防止等重点課題措置が終了し、最近ではオミクロン株優勢の感染拡大の状況となり、新たな行動制限を行わずに社会経済活動を維持しながら各々で感染防止対策を講じる段階となりました。まだまだ油断は出来ませんが、withコロナの時と捉えて諸活動の活性化が待たれるこの頃です。

当NPOクラブでは中小企業支援活動の主体である販路開拓支援活動や展示商談会支援活動でのマッチングはリアル型とオンライン型の両方で行ってきました。リアル型はFace to Faceの良さ、オンライン型は利便性の良さがあり、コロナ感染の心配が無くなくても両方のマッチングスタイルが続くものと思われます。

昨年は、5月の定時総会において、役員（理事長、理事、監事）の改選が行われ、理事会の半数が新しい理事となり、活気溢れる組織運営を目指して動き出しました。また、当NPOクラブと同じように企業OBを主要メンバーとして社会貢献活動を行う一般社団法人ディレクトフォースと、相互のより良き発展を目指して相互の交流や連携を図るべく友好協定契約を締結致しました。さらに、10月5日には皆様のご協力により創立20周年記念事業を無事に終えることが出来ました。厚く御礼申し上げます。

昨年の当NPOクラブの活動実績は、収益事業活動においてはコロナ禍の影響による受託案件数の減少や案件規模の縮小等により残念ながら前年より下回る見込みですが、社会貢献活動である非収益事業活動は重点課題に設定して積極的に取り組んできました。

当NPOクラブは3カ年毎に中期活動方針を策定し、基本方針、重点課題を設けて、課題達成に向けての活動を行っています。昨年は2021～2023年度中期活動方針の2年目にあたります。A. 中小企業への経営支援活動、B. 社会貢献活動、C. 組織運営体制の整備・充実の3つの基本方針の下に、各々の重点課題を定め、チームを組んで課題達成に向けての活動を行ってきました。現在、2021年度の重点課題32課題の進捗状況について評価・見直しを行った上で25課題を2022年度の重点課題として課題達成に向けて取り組んでいます。重点課題の幾つかを紹介いたします。

研究会・タスクチーム活動の推進は今後の社会ニーズに対応した支援活動に繋げることと会員の自己研鑽を目的とした活動です。エネルギー産業、新素材、中小企業経営強化、補助金制度活用支援、環境事業支援の5研究会とデジタルイノベーション支援、起業家支援、自然大災害復興支援、事業承継支援、特定支援会員連携、海外支援、国内・海外ポータルサイト、子ども食堂支援の8タスクチームで活動しています。中小企業支援活動では多角的経営支援として新技術の事業化支援、ものづくり改善支援、事業戦略の策定支援、デジタル技術の活用支援活動を行っています。また、特定支援会員等を対象に販路開拓支援の他に企業意向調査、総合的経営支援、セミナー活動を行っています。教育機関・企業等への講師派遣を通しての次世代育成支援も重要な重点課題です。若者や女性の活躍できる環境確保、SDGsの活用支援も重点課題として取り組んでいます。これらの活動が順調に進展して皆様から頼りにされるNPO組織になることを目指し

て活動の幅を広げて行く所存です。

今後も引続いてご指導ご鞭撻またご支援ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

理事長 助川英治